

令和4年度学校経営の改革方針

津市立芸濃中学校

【学校経営の改革方針】

1 めざす学校像

学校教育目標：自立に向かう生徒の育成～人を大切に～

- ◎ 一人ひとりが安心して生活できる学校（安心）
- ◎ 明るく活気に満ちた学校（活気）
- ◎ 改善により指導力を高め続ける学校（学校力・教師力）

<力点>

- ① 学校教育の核は授業である
- ② 目の前の子どもの姿（集団と個）を出発点にする
- ③ チームで子どもを育てるという意識と実践

2 現状と課題

- ① 全体的に落ち着いており、学校生活全般において前向きに臨んでいる。授業では、タブレット端末も活用しながら仲間とともに学習活動に取り組んでいる。しかし、グループ学習において表層的な話し合いに終始したり、家庭学習の時間が県内の平均水準に比べて短かったりすることに象徴されるよう、学習課題を深く考えたり、自らの学習を調整しながら家庭学習を積み重ねていくといった、汎用的な力が十分育まれていない生徒が少なくない。
- ② 人権教育に積極的に取り組み、自らを振り返り、他者とつながり合う学習を推進しているが、日常生活で軽はずみな言動で他人を傷つけたり、それを周囲が見て見ぬふりをしたりするような事案がある。人権課題について深く考えるとともに、学びを自分化、日常化させ、差別を許さない個の育成と集団づくりをより一層進める必要がある。
- ③ コロナ禍で活動は縮減されているが、学校運営協議会での協議も踏まえ、まちづくり協議会、雲林院社会教育推進委員会等と連携した取り組みを行い、「地域とともにある学校づくり」を進めてきた。GVT（芸濃中学校ボランティアチーム）の活動にも意欲的である。今後は、学校・地域の人々・保護者が目標を共有し、「子育て共同体」としての意識をより一層高めながら取り組む必要がある。
- ④ 子どもの育ちを最優先に、教職員の真摯な取組により学校運営が進められている。その一方、教職員の時間外労働については、縮減への取組によって令和2年度比で約2割（令和元年度比で約5割）縮減できたが十分ではない。既存の総勤務時間縮減への取組の継続と、より一層の工夫や精選を進める必要がある。

3 重点目標

- ① 自立（自律）した学習者の育成に向けた学習指導の強化（授業改善の推進と家庭学習の充実）
- ② 他者とのかかわりによって豊かな感性と確かな実践力を育む教育の推進（人権学習の取り組みと集団づくり）
- ③ 地域・保護者とともにある学校づくり（学校運営協議会を起点とした地域との連携「子育て共同体」の推進）
- ④ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取り組みの強化

4 具体的な行動計画（①、②は1・2学期末にアンケート調査を実施）

- ① 自立（自律）した学習者の育成に向けた学習指導の強化
 - ・「芸濃中授業づくりの柱」をもとに、主体的、対話的で深い学びの実現による資質・能力の育成を目指した授業研究を推進する。なお、英語・数学においては、TTや少人数授業の利点を生かした指導に取り組む。
 - ・津市GIGAスクール構想をより一層進め、タブレット端末を積極的に使うという段階から、より効果的に活用するという段階に引き上げる。
 - ・家庭学習の時間を確保し（平日2時間以上）、質を高めるために家庭学習の手引きを改訂するとともに、「みんなの学習クラブ」等を積極的に活用する。また、特化研究プロジェクト事業を活用し、個別最適な学びの実現に向けた学習スタイル及び学習習慣確立への研究を進める。
- ② 他者とのかかわりによって豊かな感性と確かな実践力を育む教育の推進
 - ・子どもたちの人権保障を基盤に個の育成と集団づくりを進めるとともに、学年の積みあげを大切にしたい取り組みを進める。
 - ・生徒に学校づくりへの主体者意識を育むために、活動目的を明確に指導した上で、学校行事として多様な生徒会活動の場面を設ける。また、日常の授業づくりにおいても生徒への参画意識をもたせる。
 - ・保幼小中での連続した人権教育カリキュラムによる実践を推進する。
- ③ 地域・保護者とともにある学校づくり
 - ・学校運営協議会の機能を用いて、地域の団体（PTA、まちづくり協議会、雲林院社会教育推進委員会等）との効果的な連携を進める。その際、働き方改革の観点も踏まえ、教育的意義と効果を照らし合わせながら取組の工夫・精選を図る。
 - ・学校行事、学年行事、授業などを積極的に公開するなど学校を積極的に開く。
- ④ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取り組み
 - ・学校部活動運営方針を遵守した部活動運営を行うとともに、すべての部の複数顧問体制や縮減した放課後の部活動時間での活動を維持する。
 - ・職員会議や研修会等の時間を60分以内とする。
 - ・教育的効果及び教職員への負担の両面を勘案し、学校行事の内容を見直し地域行事への参加の精選を図る。